

昭島市教育委員会 殿

学校名 昭島市立拝島第二小学校
校長名 小瀬 和彦

令和3年度教育課程について（届）

このことについて、昭島市立学校の管理運営に関する規則に基づき、下記のとおりお届けします。

記

1 教育目標

(1) 学校の教育目標

社会や世界の状況を幅広く視野に入れ、よりよい学校教育を通して持続可能な社会を創るという理念の基、知・情・意・体の調和のとれた人間性豊かな児童の育成を目指す。

◎よく考える子 自ら学び考え判断し、協働して問題解決を図る子

○心ゆたかな子 自らのよさを見つめ、他者を尊重し、共によりよく生きようとする子

○元気な子 自らすすんで挑戦し、最後までやり遂げる子

自らすすんで心と体をきたえ、たくましく生きる子

(2) 学校の教育目標を達成するための基本方針

第2次昭島市教育振興基本計画に基づき、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を通して、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、教育目標の実現を図り、児童に生きる力を育む。

ア 「よく考える子」を育て、確かな学力の定着と伸長を実現するために

(ア) 調査や各種データに基づいたカリキュラム・マネジメントの充実、授業改善のPDCAサイクル化を推進することにより、基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、思考力・判断力・表現力等を育成する。

(イ) 問題解決的な学習や体験的な活動を充実させ、学びに向かう力や自己の感情や行動を統制する力を育むことにより、学びと自己のキャリア形成の方向性とを関連付けられるようにする。

(ウ) 各教科等及び各学年相互間の関連を図るとともに、教科横断的な視点から指導計画の編成・実施・評価・改善することにより、読み解く力や論理的思考力、情報活用能力を育成する。

イ 「心ゆたかな子」を育て、広く世界にかかわり、共生社会を実現しようとする態度を養うために

(ア) 道徳教育や体験活動、多様な表現や鑑賞の活動を協働的に実施することを通して、自分のよさを認識し、あらゆる他者を価値ある存在として尊重し、共によりよく生きようとする態度を育成する。

(イ) 集団宿泊活動やボランティア活動、多様な体験的な活動を通して、「節度、節制」、挨拶や礼儀、基本的な生活習慣を身に付けさせるとともに、自立心や自律性、生命を尊重する心や他者を思いやる心を育てる。

ウ 「元気な子」を育て、生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するために

(ア) 体力調査等の分析結果に基づく指導計画及び授業のカリキュラム・マネジメントにより、体力向上と健康の保持増進を図り、運動や健康についての課題を把握し、すすんで課題解決しようとする態度を育成する。

(イ) 関連諸機関との連携を図り、地域の人的・物的資源を効果的に活用し、危機回避能力を身に付けさせる。

エ 輝く未来に向かう力を身に付けるために

(ア) 昭島市民科（総合的な学習の時間）において、各教科及びSDGsとの関連（クロスカリキュラム）を明確にしたカリキュラム・マネジメントにより、主権者教育を中核に探究的な見方や考え方を働かせ、社会参画しようとする態度を養い、グローバルに考え、ローカルに行動できる人材を育成する。

(イ) 昭島市特別支援教育推進計画に基づき、通級による指導との連携を強化し、定期的な特別支援教育連絡会や全体会による情報共有と一貫した指導の徹底を行い、個に応じた指導の充実を図る。

(ウ) 就学支援シートの積極的活用、スタートカリキュラムの実施、幼保・小中一貫教育を計画的に推進し、学ぶことと自己の将来とのつながりを考え、結び付けていくキャリア教育の充実を図る。

オ 信頼される学校づくりのために

(ア) 学校経営グランドデザイン及び教育課程、教員のマニフェスト（指導の重点）を公表（学校公開、ホームページ、説明会）し、説明責任を果たすとともに各種調査の分析結果及び改善点を公表し、結果責任を果たす。

(イ) 組織的に、いじめ、不登校、事故の未然防止及び解消に努め、安全で安心な学校づくりを実現する。

(ウ) 「学校の新しい生活様式」に則り、感染症対策や大規模災害発生時の対応等、あらゆる事態を想定した防災教育等を徹底し、安全教育の充実を図る。